

令和2年5月26日

お客様 各位

一般財団法人日本健康増進財団
代表理事 三木 一正

健診業務再開と感染防止対策のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当法人の健診業務に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当法人では6月1日より健診業務を再開いたします。再開に際しては、「3密」を避け、ご利用いただく皆様の安全を確保した運用や環境の整備、感染対策をおこなってまいります。

なお、一部検査項目(胃部内視鏡検査・肺機能検査)は安全に検査が行う体制が整うまでは、中止いたしますのでご理解賜りますようお願い申し上げます。

休止期間中は、ご予約いただいた皆様には大変ご迷惑をお掛けし、申し訳ございませんでした。引き続き、当法人をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

■ 健診業務再開日

令和2年6月1日(月)

■ お問合せ等の対応

再開に伴い、短縮していましたお問合せ時間も通常どおりとなります。

■ 中止検査項目

胃部内視鏡検査、肺機能検査

※現時点で本検査の再開時期は『未定』です。新型コロナウイルス感染の収束状況ならびに安全に実施できる環境が整い次第、当検査の再開日をご連絡します。

■ 健診における新型コロナウイルスへの感染防止対策について

1. ご受診に際してお願い

① 新型コロナウイルスに関する問診票のご記入

事前に配布いたします。全て「いいえ」の方は健診当日に問診票をご持参ください。

ひとつでも「はい」がある方は、今回の健診はご受診頂けませんので健診予約担当までご連絡をお願いいたします。

問診内容

- 1) 風邪症状(咳・のどの痛み・下痢・嘔吐・体のだるさ等)や嗅覚(におい)や味覚(あじ)の低下といった症状のある方
- 2) 発熱(37.5℃以上)がある方[健診当日に自宅等で体温を測定してください]
- 3) 健診を受診される1週間以内に、37.5℃以上の発熱があった方
- 4) 2週間以内に、新型コロナウイルスに感染または感染疑いのある方(同居者・職場内での発熱含む)との接触歴がある方
- 5) 2週間以内に、特定国への渡航歴の有無を問わず、日本国外から帰国した方(およびそれらの方と家庭や職場内等で接触歴がある方)

② 検温のご協力をお願い

入館時に検温をさせていただき、37.5℃以上の場合にはご受診をお断りしております。

③ マスクの着用

ご来院の際は、マスクの着用をお願いします。着用されていない場合は、健診をご受診いただけませんのでご了承ください。マスクの確保が困難なため、ご自身でご用意をお願いいたします。

④ 手指消毒をお願い

入館時・退館時のほか、健診中も適宜、手指消毒をおこなってください。

⑤ 受付時間の順守

受付時間を順守の上、密集、密接の防止にご協力をお願いいたします。

⑥ 眼底・眼圧検査を受診される方でコンタクトレンズをご使用の方へ

必ずコンタクトレンズケースをご持参ください。コンタクトレンズケースの貸出を中止しております。

2. 感染防止対策について

- ① 施設内の窓やドアを開放しています(追加でサーキュレーターを設置し、空気の換気を行っています)。
- ② 空間除菌装置(次亜塩素酸水の噴霧器)を各健診フロアに設置しています。
- ③ レントゲン室、診察室等には空間除菌装置(深紫外線LEDを搭載した光触媒フィルターによる除菌装置)を設置しています。



サーキュレーター



空間除菌装置
(次亜塩素酸水噴霧器)



空間除菌装置
(光触媒による除菌)

- ④ 待合スペースの椅子の間隔をあけて、受診者様同士が密接しないように配慮。
- ⑤ 検査や診察時は受診者様と健診スタッフ間が密接しないよう配慮。
- ⑥ 雑誌やパンフレット類を撤去。
- ⑦ 受付時間を分割し、密集を防ぐ。
- ⑧ 飛沫感染予防のため、受付やオリエンテーション室にビニールシートを設置。
- ⑨ 更衣室ロッカーは、接触しないように間隔をあけてご利用いただく。
- ⑩ ロッカーやドアノブ、手摺り、エレベーターの操作盤など共用箇所の消毒を定期的実施。
- ⑪ 各検査室の検査機器、診察室(机・椅子)等検査機材の消毒を受診者様毎に実施。
- ⑫ 全職員の出勤前検温実施と症状の確認を行い(記録)、基準を外れる場合は出勤停止。
- ⑬ 健診スタッフはマスクを着用。
- ⑭ 飛沫感染リスクのある検査では健診スタッフは手袋、フェイスシールド、アイシールドを着用。
- ⑮ 健診スタッフは手洗い励行、手指除菌剤による消毒を徹底。
- ⑯ 健診車両内は常時換気を実施し、入室定数を制限。
- ⑰ 出入り業者様、来訪者様への体調確認、衛生管理(マスク着用)を実施。